

## AI 利用し防災社会

### 福山コンサルらコンソーシアム設立

福山コンサルタント（福岡市、福島宏治社長）は、茨城大学やNECらと共同で「AI防災オープンコンソーシアム」を立ち上げた。人工知能（AI）などの最新技術を利用して、持続可能な近未来防災システムを

実現させて、防災社会の構築につなげることが狙い。21日に東京都港区のNEC田町本社で発足式を開き本格始動した。

同コンソーシアムは、年2回程度の全体会合を開いていく予定。具体的な内容は、ワーキンググループを設置して議論していく。▽防災に関する情報の在り方▽住民らの避難促進方策▽持続可能な防災システムの運用の三つがテーマとして挙がっている。

冒頭、発起人の齋藤修茨城大学特命教授があいさつし、「安全な日本を作る」とが主眼だ。核となる技術はAI、センサー、UAV（無人航空機）などでロボットも入ってくるだろう。



コンソーシアムを大きくして、新たな防災システムを構築していきたい」と抱負を語った。写真。IoT（モノのインターネット）やAIを活用した災害対応などに関する講演も行われた。NECや福山コンサルタント、日本無線ら参画企業による技術紹介も行われた。福山コンサルタントはAIを活用した水位予測技術などを提供していく。